

教育目標：○思いやりのある子 ○すすんで学ぶ子 ○力を合わせる子 ○元気な子
 目指す学校像：○確かに学ぶ学校 ○安全・安心な学校 ○未来を創る学校 ○ともにある学校
 目指す児童・生徒像：○主体的に学び、自らの力を高め伸す子 ○自他を大切にし、心豊かに他者と協働する子 ○心身ともに健康に生活する子
 目指す教師像：○学校の役割を十分に理解し、家庭・地域と連携して教育活動に貢献する教職員 ○心身ともに健康な教職員

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標 (中間)	努力指標 (最終)	成果指標 (中間)	成果指標 (最終)	今後の課題	学校関係者評価記入欄
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ◆基礎的・基本的知識及び技能を確実に習得させる。 ◆主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を推進する。 ◆カリキュラム・マネジメントを推進するとともに、多様な人々と協働しながら課題解決を図る学習を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的知識及び技能を確実に習得させる。 ○個に応じた指導、互いに学び合い、高め合う指導、タブレット型PCの活用を推進・充実させる。 ○体験的・協働的な学習、探究的な学習を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」、「分かりやすい授業」を推進し、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る。 ・「習得・探究・活用」「問題解決」の学習過程を取り入れた授業、生活科や総合的な学習の時間を中心とした人的・物的資源を生かした協働学習を行う。国分寺学の推進を図る。 ・体験的・協働的な学習、探究的な学習を推進する。 ・タブレット型パソコンの活用、ICT機器等を効果的に活用した分かりやすい教材の提示により、「分かる・できる・つながる授業」を展開する。個に応じた丁寧な指導を行う。 	4		4		<ul style="list-style-type: none"> ○低学年では、学習に取り組む基本姿勢を重点的に指導し、成果が出ている。○全学年で、基本的な学習内容(漢字の読み書き、計算)の復習を家庭学習で継続的に取り組むことにより、理解が確実なものになった。 ○指導法を工夫し、楽しみながら学習を進められるようにしたいが、知識・技能の習得に課題のある児童もおり、今後も工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎、基本的な学習がよくできているようで安心した。先生たちの日頃の指導、努力に感謝している。 ・子供たちに学ぶ意欲を身に付けさせるためには、課題解決や協働的な学習を行うことはとても大切であり、引き続き取り組んでほしい。 ・応用力が求められている場面が増えてきているのが世の中の現状だと思う。グループワーク、意見交換を通じて対話力を身に付けていけたら良い。 ・タブレットやPCの活用は、子供たちが慣れることが大事なので、使い方を習慣付けていってほしい。 ・ICTのスキルについては、教員のレベルを揃えたり、スキルアップさせる努力や苦労があると察する。 ・タブレットはあくまでツールなので、その活用の仕方が重要だと思う。単なる入出力だけの装置に留まらないよう、多様なケースを示せるといいと思う。 ・他校の事例なども、情報交換しながら先生方の意欲を上げることも大切かと思う。
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ◆規範意識の醸成と他者を大切にすることを言葉や態度(挨拶・礼儀)で表すことができるようになる。 ◆いじめや差別、体罰を絶対に許さないなど、全教育活動を通じた人権を尊重した教育活動を推進する。 ◆安全教育の推進に取り組む。 ◆教材・教具、校内環境の美化・整備を適切に行い、教育環境を安全に整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣や集団生活をする上でのルールの徹底を図る。 ○いじめ防止・不登校対策の充実と徹底を図る。 ○保護者や地域、関係諸機関と連携した安全教育の取組を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「十小のきまり」「10の約束」の指導の徹底の徹底を家庭と連携して行う。 ・挨拶や相手を大切にすること、言葉遣いを大切に、暴力や暴言を許さない、体罰防止に努める。 ・組織的にいじめ防止に取り組む。毎月、笑顔チェックカードにより児童の様子を把握し、SOSを見逃さないよう細心の注意を払う。 ・様々な場面において、「想像する」「行動する」の習慣化を図り、思いやる心や危険を予測し回避する力を養う。また、家庭・地域と連携した安全教育に取り組む。 ・学校環境を安全に整え、安全指導や避難訓練の充実を図る。 	3		4		<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶などはよくできているという意見が多い。全校朝会の呼びかけや、生活指導夕会の情報共有などで、職員が共通の意識で指導したことが有効だったと言えるので、継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時に挨拶をするほとんどの子供たちが挨拶を返してくれる。大人が挨拶をすることが子供たちの手本となり、真似をする。この良い習慣を続けてほしい。 ・「いじめ防止」に向けて、全て学校で対応するのは絶対に無理なので、保護者との連携を強める必要があると思う。また、保護者同士のつながりをもてる場を学校でもつくることもできると思う。お手伝いも良いので、学校と聞かれる場があると良いと思う。 ・安全教育で子供たちの言葉遣いが良くなっている。 ・実動訓練などの学びから、危機管理マニュアルの見直し、教員全体で共有が必要がある。 ・タブレット、ICT機器の普及に伴い、情報リテラシー教育が必要だと思う。ただ教えるのではなく、何が危険なのかを自分で気付かせるための教育ができればよい。
豊かな心・たくましい体	<ul style="list-style-type: none"> ◆困難なことに立ち向かい、様々な人と協働し、課題を解決していくことができるたくましい心と体を育成する。 ◆自分のよさや可能性を伸ばし、生き方について考えを深めたり、自分の夢や希望を大切にしたりすることができるようキャリア教育を推進する。 ◆家庭との連携を図り、生涯にわたって運動に親しみ、健康な体を維持していこうとする態度を培う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育や多様な人権教育の学習を充実させる。 ○キャリア教育の推進し、自分のよさ・生き方について考える機会を設けたり、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を身に付けさせる。 ○音楽・造形活動を通し、豊かな情操を養う。 ○「体力の向上」「食」の大切さを理解し、健康な生活を送ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーや特別支援教室の巡回指導教員等と連携し、発達障害や多様な理解を深めたり、道徳教育・人権教育の指導を充実させる。 ・ゲストティーチャーによる授業や自分のよさや協働するよさを感じる授業を充実させ、キャリア教育、アントレプレナーシップ教育を推進する。 ・音楽や発表など表現する機会を積極的に設けるとともに、学級活動、委員会活動を充実させ、児童の自主的な活動を推進する。 ・児童による委員会活動や休み時間の有効活用により、「楽しみながら運動に親しみ機会」の日常化に取り組む。 ・元氣チェックカードの活用や栄養士と連携した食育を充実させ、健康な心身を培っていこうとする意識を高める。 	4		4		<ul style="list-style-type: none"> ○人との関わりを通して学ぶことについては、教員が100%、保護者が91%だった。ゲストティーチャーを招いての学習などを今年度は徐々に進めているが、その成果がまだ十分に伝っていない。 ○児童へは、悩みの相談を周りの大人やスクールカウンセラーにしているかを問う質問だった。89%で、一番低かったが、スクールカウンセラーと接点のない児童もいるため、低い機会になったと考えられる。高学年だけでなく、スクールカウンセラーを紹介する機会を設ける。 ○教員アンケートでは、児童の行事への意欲が非常に高いことや、個性を發揮して運動会の表現に取り組んだ姿などが見られたとあった。高学年児童は、委員会や係などで役割を引き受けて活躍できたことが自信につながったので、継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちと関わる中で、いつも元気で明るい児童が多いことに感心している。 ・ゲストティーチャーを取り入れた授業をもっと増やしていくことで、文化的行事を増やしていってほしい。 ・授業時間が削減することで、行事を継続していただきありがたい。やり方が変わっていくことは仕方ないことだが、行事の目的については本質を見失わずに継続していただければと思う。 ・スクールカウンセラーは、あまり認知されていないので、何か問題があつてからの活用になるかと思う。何かある前からすぐに連絡がとれるように、普段から相談できるようになっていけたらと思う。 ・「多くの人に関わりたい」というのは、我々大人がその楽しさを見せていかないといけないと思う。ボランティア活動などそれを見せていきたい。 ・様々な体験や人との関わり合いを通して、子供たちにはレジリエンスを高めていってほしい。
ともにある学校	<ul style="list-style-type: none"> ◆保護者・地域に学校運営について分かりやすく情報を発信する。 ◆教育活動の充実・改善のために、内部評価・外部評価を生かし、保護者や地域の願いを共有し、「開かれた学校づくり」に取り組む。 ◆家庭・地域と連携して教育活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の学校生活や取組の様子「チーム十小」として、教育活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページ、学校ブログによる教育活動の様子の適宜発信等、情報を分かりやすく伝える。 ・学校運営協議会委員、教職員による学校公開や行事等の実施後アンケート結果を生かし、教育活動の改善・充実を図る。 ・教職員は、児童が安心して通学できるよう日常の連絡などを丁寧に、保護者とともに児童の成長を支える。 ・保護者や地域人材が積極的に教育活動に参画できるよう「学習ボランティア」「特別校内委員会」などのシステムを確立させる。 	3		4		<ul style="list-style-type: none"> ○保護者アンケートでは、90%が肯定的評価だった。ブログの更新はしているが、まず、見てもらうために周知することや、内容を工夫するなど、課題がある。 ○教員アンケートでは91%が肯定的評価だった。今まで続けてきたブログの他に、1学期後半からまなびポケットでのお便り配信も始めた。今後も幅広く情報を公開していく必要がある。 ○保護者アンケートでは91%だった。学校ボランティアに参加する保護者も多数いるが、まだ家庭によって温度差があることも事実である。また、地域との連携を今後、どうやって図っていくかも課題である。 ○教員アンケートでは、農園ボランティアや保護者ボランティアと連携する授業を開発し、成果が上がっているという記述がみられる。今後も地域と連携した授業を開発し、国分寺学につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部との連携や新しい取組など、常に工夫を続け、よい教育になるよう努力していると感じる。 ・更新したことがすぐに分かるようにする情報発信のツールは様々なものがあるので、検討してみてもどうか。 ・教育活動について、どのような取組をしているのかという情報は保護者にとって安心感につながるもので、今後も丁寧な情報発信をお願いしたい。 ・保護者同士がいきなりつながるのはなかなか難しいため、場の提供という面で、まずは学校を中心に動いていただけたらありがたい。 ・地域と学校との連携を強化するために、私たち地域の方からもつながる努力をしていきたい。 ・アンケートなど、自由意見の欄を設けて、保護者の意見を聞くことで、今ある課題が見えてくるのではと思う。また、先生からも保護者へ意見を出せるようになっていく必要がある。